

『安心・安全なまちづくり～あなたがかわる・地域がかわる～』

企画：ふそう男女共同参画懇話会

12月1日（土）扶桑町中央公民館でふそう男女共同参画懇話会、公益財団法人あいち男女共同参画財団、扶桑町の共催事業でサテライトセミナーを開催しました。このセミナーは、東日本大震災の際に被災地支援に入られた立教大学大学院の萩原なつ子先生をお招きして、災害が起きた際の地域の対応などについてお話しいただきました。当日は59名の方にお越しいただきました。

★講演会の内容

災害時の避難所は、男性だけが責任者になっていると、女性のニーズが届きにくい。また、性別役割分担によって、避難所での役割が決定してしまい、本人の得手不得手や特性は考慮されない。男性も責任を負いすぎることによって自身が参ってしまう。個人の特性を捉えて役割分担をする必要がある。経験は必要だが経験だけで判断してはいけない。いざという時のために地域の人たち同士で普段からゆるく繋がっていることが必要である。

★参加者の感想

- ・「防災」はいろいろな視点から考えなければならないということを知った。(50代 男性)
- ・予期せぬ突然の自然災害に対しての具体的な心掛けや対応策が参考になりました。(70代 女性)
- ・実体験に基づいた生きた話が聞けた。(50代 男性)
- ・今、自分の住む所は隣は何をする人ぞ的なので、少しでもおしゃべり出来る町にしたい！(70代 女性)
- ・地域のつながりの大切さを改めて必要だと思いました。(60代 女性)
- ・自助、近助、共助、公助の大切な事がわかった。(60代 男性)



講演の様子

★懇話会の感想

重くなりかちなテーマですが、先生の実体験や被災者の方からのニーズなどをざっくばらんに話していただきました。参加した小学生から「災害時に子どもでもできることは何かありますか？」という質問も出るなど、参加者全員がそれぞれ自分のこととして考えるきっかけになりました。

毎回、身近な出来事を取り上げ、皆さまとともに考えていきますので、ご意見やご感想をお寄せください。



扶桑中学校 1年  
田口 未菜さん

今月号の表紙

絵の題 「身近な文化財」

ヒマワリは扶桑町の花。つまおり傘は扶桑町の文化財。守口大根は扶桑町の特産物です。この3つは私たちの身近にあり、目にすることも多いです。私がなぜこの3つを描いたかということ、身近にある扶桑町の文化を大切にしてほしいと思ったからです。これからもこの文化を残していくために私たちが扶桑町のことをよく知り、次に引きついでいくことが大切だとこの絵を描いているときに思いました。

各公共施設のおやすみ	
役場 ☎ (93) 1111	土曜日・日曜日・祝日
保健センター ☎ (93) 8300	土曜日・日曜日・祝日
総合福祉センター ☎ (91) 1151	月曜日
総合体育館 ☎ (93) 2441	火曜日
扶桑文化会館 ☎ (93) 9000	月曜日（祝日は除く）・火曜日
中央公民館 ☎ (93) 7211	火曜日
図書館 ☎ (93) 8630	火曜日・第3水曜日
学習等供用施設	月曜日・祝日

◆扶桑町内主な犯罪発生状況（暫定値）

	12月	1～12月
刑法犯総数	12件 (13件)	206件 (248件)
住宅対象侵入盗	2件 (3件)	25件 (23件)
車上ねらい	1件 (0件)	13件 (7件)
自転車盗	1件 (6件)	39件 (54件)

(昨年同期)

町の人口

(1月1日現在)

人口	34,777人 (+22)
男	17,301人 (+18)
女	17,476人 (+4)
世帯数	14,017世帯 (+31)

※( ) 前月比



スマホで広報紙

アプリで読むには  
まずは左のQRコードからダウンロード！！  
※通信料は利用者負担です。